

第 5 回 学校関係者評価委員会（書面による開催） 議事録

〔日 時〕 2020 年 10 月

2020 年 5 月 28 日（木）に開催を予定しておりました第 5 回 学校関係者評価委員会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催といたしました。

- 2020 年 10 月 14 日（水）書面による報告
- 2020 年 11 月 6 日（金）質問期限
- 2021 年 1 月 5 日（火）書面による回答

[委員]

関連業者（実習病院）等関係者 4 名、卒業生、学識経験者、非常勤講師、地域関係者、保護者 2 名、学生 3 名

学校長、副学校長、看護第一学科長、看護第二学科長、学校総務課長

1 議事

- (1) 自己点検・自己評価 2019 年度の結果と取り組み
- (2) 「明日の厚木看護専門学校を考える」学生アンケート結果

○ 配布資料

資料 1 2019 年度 自己点検・自己評価報告書

資料 2 「明日の厚木看護専門学校を考える」学生アンケート用紙

資料 3 「明日の厚木看護専門学校を考える」学生アンケート結果

2 報告結果

外部委員 2 名より 2 点についての質問があり、以下の通り書面で回答いたしました

質問 1) <教育活動><実習><評価>の項目で、実習指導者と教員の協働体制について、わずかだが減少しており、何か背景となるものがあつたのか、より協働していくために臨床側に希望すること等があれば教えていただきたいです。

回 答)

減少の背景の検証はしていませんが、過去 1 グループ 1 名の指導教員のシステムから、2 グループを 2 名の教員がパートナーシップを取りながら指導する方法へ変化させたことが要因と考えられます。

教員 2 名と指導者の合計 3 名で、学生に対して広い視野で指導の方向性を考えられるようになりました。お忙しい臨床の場ですが、両組織でのコミュニケーションが一番だと考えますので、調整の時間を取らせていただければと考えています。できれば学生情報だけでは

なく患者情報も含め情報交換させて頂くと、看護の方向性が確認でき、指導の統一性につながると考えます。

質問2)「予習して授業に臨んでいる」と思う回答が少ないことが気になります。学生さんが予習を行わない(行えない)理由や、学校としてシラバス以外に自学自習の内容をどのように伝えているのか工夫があれば教えていただきたいです。

回 答)

考えられる理由のひとつに、教員が宿題とした内容については予習に入らないと考える学生の存在があります。自ら考えた自主的な学習でないと「予習して授業に臨んでいる」ことにはならないととらえていたようです。

課題は、予習したことが授業に活かされるような仕組みにすることであると考えます。シラバスの進度に沿って予習が効果的に行われるよう、外部講師の方々には、授業終了時に意図的な予習課題の提示を依頼するとともに、学生には予習が学習習慣にとっていかに大切なかを伝えています。1年生には、予習の内容が学習に役立った経験の場を意図的につくり、その必要性を体感してもらう等の工夫をしながら、学年があがるにつれ主体的な学習ができるよう今後も動機づけを行っていきたいと思います。

以上